

## 卷頭言

大和ハウス工業株式会社  
総合技術研究所 所長  
佐々木 仁



大和ハウス工業（株）総合技術研究所は、1973年に開設された中央試験所が研究開発部と統合されて1980年に発足し、1994年に現在の関西文化学術研究都市に設立されました。「環境共生」や「Two Way Communication」をコンセプトに、奈良の地に開かれた研究所を目指し、創業以来培ってきた技術ノウハウを活かした多彩な研究開発を推進してまいりました。2007年には、創業者・石橋信夫の精神と技術開発の歩み、未来へのメッセージを伝える「展示施設」と「石橋信夫記念館」を併設いたしました。

これまで当研究所は、本社所属のR&D部門として機能していましたが、このたびの「2大本部制」への組織再編に伴い、R&D部門は、本社、ハウジング・ソリューション（HS）本部、ビジネス・ソリューション（BS）本部の3体制に再編されました。奈良の研究拠点は従来通り「総合技術研究所」の名称で存続しますが、組織名称はそれぞれ、「住宅技術研究所（HS本部）」「建築技術研究所（BS本部）」へと改称されました。

今年度以降の技報については、「住宅技術研究所」および「建築技術研究所」の研究開発成果をひとつにまとめ、従来通り「総合技術研究所」として発刊いたします。

本号については、住宅技術研究所から地盤補強、振動解析、鉄骨・木質構造および住環境に関する6編、建築技術研究所からは建築部材の構造安全性・耐久性、建築環境、環境エネルギーおよび情報に関する7編の論文を掲載しております。

なお、各論文にはSDGsの17目標との関連を表記しています。

本技報が、当社および研究所に関心を寄せていただく契機となり、さらには関連企業や異業種の皆様との新たな共同研究開発へつながれば幸いです。今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2025年12月